



みやぎのまつりに参加して



今年度もみやぎのまつりが10月20日に無事開催されました。午前中は肌寒かったのですが、午後は日差しもあり暖かさを感じられました。「まちの保健室」には、去年は無かった肌年齢測定、血管年齢・ストレスチェックが設置され、老若男女たくさんの方々が立ち寄って下さり、血圧測定や体脂肪測定も盛況で、それと併せて健康相談を行う事が出来ました。皆様の健康に対する意識の高さを伺えました。郡市長もお立ち寄り下さり、医療従事者としてとても励みとなりました。

(職能委員:白幡和枝 光が丘スパーマン病院)

血圧測定:43名
体脂肪測定:73名
肌年齢測定:73名
血管年齢ストレス測定:47名
健康相談:100名
の方の利用がありました。



＊ 看護管理者ネットワーク会議に参加して ＊

8月2日に看護管理者ネットワーク会議が行われました。(26名参加)
東北文化学園大学より瀬戸初江特任教授をお迎えして「看護教育の今」について講義頂きました。現場の新人看護師がどのような教育を受けてきているのか、教育現場の今を実際の学生の言葉や実習先での驚きの行動等、貴重なお話を聞くことが出来ました。新人看護師の教育の背景を理解し、一人の自立した看護師を育てていくために、褒めて伸ばすだけでなく、学生・新人看護師が相手の視点に立って物事を考えられるよう導いていくことが大事であると学びました。今後の看護師育成に繋げていけるよう、時間をかけ指導者はコミュニケーションをとることを大切に実践していきたいと思いました。参加頂いた皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。

(広報委員:小塚めぐみ 東北医科薬科大学病院)



興味関心が高く、今後の課題や
沢山の感想が寄せられました！

【看護教育の今:講義後のアンケートより】

『看護管理者として新人教育で取り組んでいきたいことは?』

- ・離職防止 看護師の質の向上
- ・多職種連携をする
- ・新人看護師を辞めさせないように職場の魅力アップをしていきたい
- ・指示待ちではなく自分で考えられるよう行動できるようになってほしい
- ・新人看護師ももちろん中堅看護師の教育
- ・日々の機会教育に尽きると思います
- ・イレギュラーが起きた時の対応も事例ワークや演習に取り入れたいと思いました

《瀬戸初江特任教授》



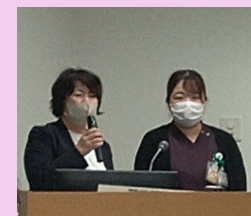
教育研修会

身体的拘束の最小化に向けての取り組み～認知症高齢者の看護を考える

今年度の教育研修会のテーマは「身体的拘束の最小化に向けた取り組み～認知症高齢者の看護を考える～」とし、認知症看護認定看護師の高橋先生と及川先生を講師にお迎えして講演とグループワーク(情報交換)を行いました。各施設で取り組まれている関心の高い内容であり、オンラインと合わせ約70名の方にご参加いただきました。(教育委員:小野寺敏江 東北福祉看護学校)



【研修の様子】



【講師オープン病院 高橋先生 及川先生】